

(棧敷席)を設置(利用者実績 西条:312名、新居浜:268名)。



【加茂川棧敷席(西条)の風景】

#### ○総合案内所の設置

両祭りの観光客を対象に、祭りをはじめ地域の観光案内を広く行うことにより、観光客の利便性の向上を図るため総合案内所を設置。祭り案内チラシや交通規制情報、食事処・宿泊施設等の情報を記載したマップを新たに作成し、観光パンフレット等とともに来訪者に配布。また、隣接スペースで、地元の特産品の紹介や販売を行う物産品販売所(新居浜)を開設。

#### ○シャトルバスの運行(新居浜)

祭り会場付近において発生する駐車場不足や交通渋滞に対応し、観光客の円滑な輸送手段を確保するため、統一かき比べ会場間に無料のシャトルバス(4台借上げ)を運行。

#### ○モニターツアーの実施

両祭りの誘客促進に役立てるため、地元での宿泊を条件としたモニターツアーを実施(40名申し込み)したほか、旅行代理店等による商品造成についても働きかけを行った。

#### ○広報宣伝活動

全国的な知名度を高めるための広報宣伝活動を関西・中国・四国を中心に展開した結果、旅行雑誌や新聞、テレビなど多様なメディアで取り上げられた。

### (5) 企業連携による県道植栽管理検討プロジェクト

#### ▼プロジェクトの背景

主要県道壬生川新居浜野田線(うち西条市内4km)は、

近年、各種店舗・事業所などの進出が目覚しく、また平成18年3月の東予有料道路無料化以降、交通量も激増しており、西条市の目抜き通りとなっている。片側2車線で歩道や中央分離帯の幅員も十分にあり、ヤマモモなどの植栽も施されているものの、限られた予算のため、草刈りなどの植樹帯の管理は、草が伸びて見通しが悪く交通安全上危険な箇所等に限定して実施されており、良好な道路環境が確保されているとは言い難い状況にある。

このためPTでは、当該区間をモデルケースとして、社会貢献に理解のある地元企業(スポンサー)との連携のもと、道路の維持管理等を行う新たな仕組みについての政策提案を行った。

#### ▼事業内容

##### ★道路美化スポンサー事業

県が協賛企業名等が入った看板(道路美化、交通安全の啓発)を設置し、協賛金による道路(主要県道壬生川新居浜野田線)の維持管理を行い、コスト削減を図るとともに、交通安全を確保する。

#### ○道路美化スポンサー事業推進協議会の設立

県がHPや商工会議所会報を通じて協賛企業等の公募を行い、7月に県、西条市、協賛企業で構成する「道路美化スポンサー事業推進協議会」を設立。10月末時点で、協賛金40口(1口10万円)の募集に対し、40口(14社)が応募。

#### ○協議会の活動状況

- ・8月中旬に、県との間で「主要県道壬生川新居浜野田線の一部区間における道路管理協定」を締結。1回目の除草を9月、2回目は11月に実施。(除草業務の受託は、西条市シルバー人材センター)
- ・看板は、西条地方局建設部が10月に業者契約し、間伐材や地元企業の新素材を使用して11月下旬に設置。

#### ○事業の効果

- ・県管理道路の維持管理は、年々予算の確保が厳しくなる中で、企業活力を活用した新たなシステムの導入により、道路の維持管理を低コストで行うことができる。